

タイカブラック・ロール

低温倉庫・食品工場の大口径配管向け区画貫通材

国土交通大臣認定 : PS060WL-0931(壁)

鋼管 150A

アーマフレックス 80mm

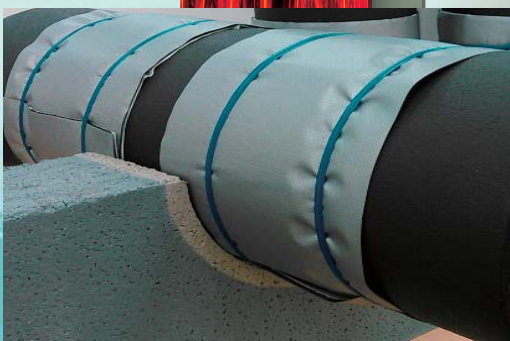
アーマフレックスの外周
+重ね代(20mm以上)
に合わせて、必要な長さを
カットして使用します。

銅管 $\Phi 66.68$

アーマフレックス 75mm

複数の配管をまとめて
施工することも可能です。

壁構造 100mm以上
ALC壁 ・ RC壁



製品仕様

適応配管及び断熱厚み

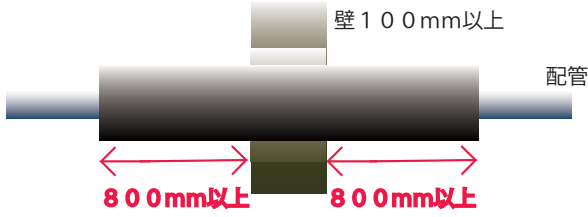
種類	配管		アーマフレックス		≦占積率 %
	≦外径 ϕ mm	≦厚さ mm	≦外径 ϕ mm	≦厚さ mm	
銅管(JIS H 3300)	66.68	2.0	217	75	88.9
鋼管及びステンレス鋼管	165.2	7.1	328	80	

記号	部品名	規格
A	タイカ ブラック・ロール	155mm幅 × 10m巻
B	被覆付番線	30m巻
C	取扱説明書	—

施工要領書

1、配管・区画貫通部のアーマフレックスの施工

①アーマフレックスは、防火壁より800mm以上突き出る様に施工する。



2、アーマフレックスの接着

①区画貫通部のアーマフレックスの小口面と、配管との隙間にアーマフレックス専用接着剤を塗る。



②延長するアーマフレックスの小口面にアーマフレックス専用接着剤を塗り込む。アーマフレックス同士が常に押している様にする。

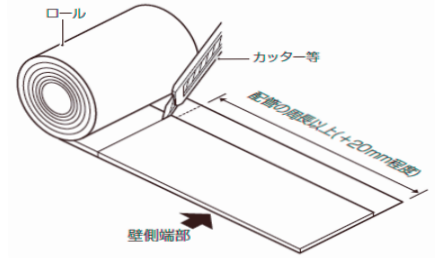


3、タイカブラック・ロールの施工

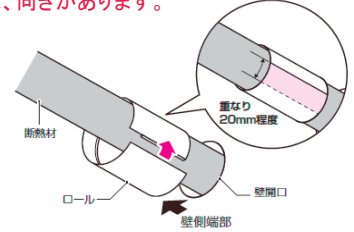
①確認
開口部の面積、配管の種類、占積率が認定仕様に適合しているか確認する。

構造		壁・(PS060WL-0931(壁))		
開口部	形状	円形: φ348mm以下		
占積率		88.9%以下		
貫通する壁の構造等	ALCパネル	・厚さ 100mm以上		
	鉄筋コンクリート造	・厚さ 100mm以上		
配管	冷媒管	①銅管(JIS H 3300)	・外径: φ66.68mm以下 厚さ: 2.0mm以下	
		②鋼管及びステンレス鋼管	・外径: φ165.2mm以下 厚さ: 7.1mm以下	
	被覆材	アーマフレックス	①銅管に使用する場合	外径: φ217mm以下 厚さ75mm以下
			②鋼管及びステンレス鋼管に使用する場合	外径: φ328mm以下 厚さ80mm以下

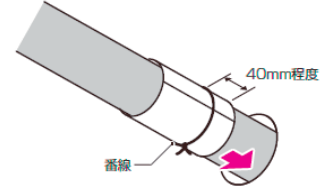
②ロールの切断
配管の周長以上(+20mm以上)長さで、ロールをカッターやはさみで切断します。



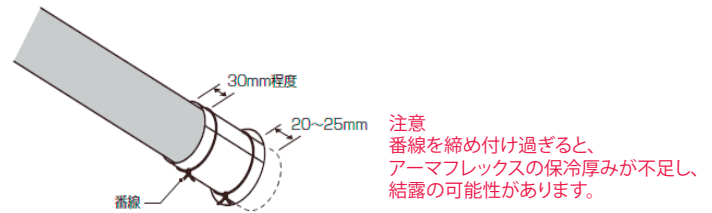
③ロールの巻きつけ
ロールを配管に1周以上(+20mm以上)巻き付けます。
*ロールのまきつけ方向には、向きがあります。



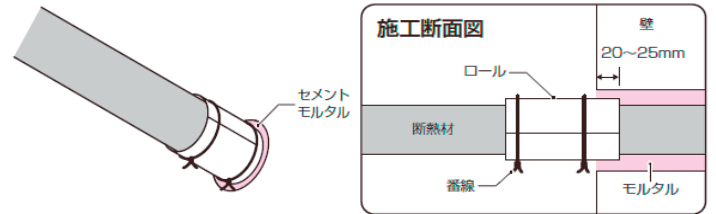
④ロールの仮固定と挿入
ロールの壁側端部から40mm程度の位置に番線で仮固定し、壁開口内に端部から20~25mm奥にスライドして挿入します。
*仮固定を締め付け過ぎるとスライドできなくなるのでご注意ください。
*ロールの重なり箇所をアルミテープで仮固定することも可能です。



⑤ロールの固定
仮固定していた番線を更に締め付け固定します。
番線を巻いていない方の端部から30mm程度の位置に、新たに番線を巻き付け、締め付け固定します。



⑥隙間の充填
配管と開口の隙間をセメントモルタルで充填して下さい。



ウチャマコーポレーション株式会社



アーマフレックス営業部
東京都港区芝5丁目29番14号 (田町日エビル)
TEL 03-5418-1829 FAX 03-5418-1831

お問い合わせ

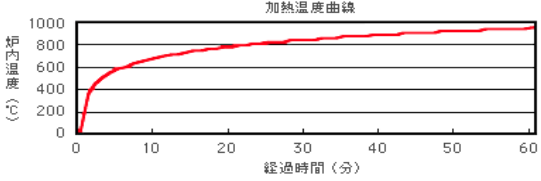
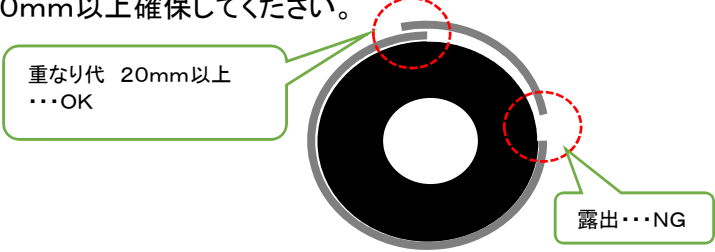
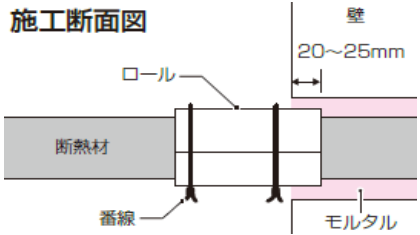
タイカブラック・ロール早見表

		Class1														
呼び径	内径	Tシリーズ			Uシリーズ			ラウンドチューブ 50			ラウンドチューブ 65			ラウンドチューブ 80		
		品番	タイカ ブラック 長さmm	取れ数 ヶ所/箱	品番	タイカ ブラック 長さmm	取れ数 ヶ所/箱	品番	タイカ ブラック 長さmm	取れ数 ヶ所/箱	品番	タイカ ブラック 長さmm	取れ数 ヶ所/箱	品番	タイカ ブラック 長さmm	取れ数 ヶ所/箱
	6															
6A	10	T-010	289	17.0												
	12	T-012	296	16.5												
8A	15	T-015	305	16.0	U-015	355	14.0									
10A	20	T-020	321	15.5	U-020	371	13.0	50020R	434	11.5						
15A	22	T-022	327	15.0	U-022	377	13.0	50022R	440	11.0						
	25	T-025	337	14.5	U-025	387	12.5	50025R	450	11.0						
20A	28	T-028	355	14.0	U-028	396	12.5	50028R	459	10.5						
	32	T-032	368	13.5	U-032	409	12.0	50032R	472	10.5	65032R	566	8.5			
25A	35	T-035	387	12.5	U-035	418	11.5	50035R	481	10.0	65035R	575	8.5			
	38	T-038	396	12.5	U-038	428	11.5	50038R	490	10.0	65038R	585	8.5			
32A	42	T-042	418	11.5	U-042	440	11.0	50042R	503	9.5	65042R	597	8.0			
	45	T-045	428	11.5	U-045	450	11.0	50045R	512	9.5	65045R	607	8.0			
40A	48	T-048	443	11.0												
	50	T-050	453	11.0				50050R	528	9.0	65050R	622	8.0			
	54	T-054	465	10.5				50054R	541	9.0	65054R	635	7.5			
	57	T-057	478	10.0												
50A	60	T-060	490	10.0				50060R	560	8.5	65060R	654	7.5			
	64	T-064	506	9.5				50064R	572	8.5	65064R	666	7.5			
	67	T-067	516	9.5				50067R	582	8.5	65067R	676	7.0			
65A	76	T-076	550	9.0				50076R	610	8.0	65076R	704	7.0			
	80	T-080	569	8.5												
80A	89	T-089	597	8.0				50089R	651	7.5	65089R	745	6.5	80089R	839	5.5
	108	T-108	666	7.5												
100A	114	T-114	685	7.0				50114R	729	6.5	65114R	823	6.0	80114R	918	5.0
125A	140	T-140	776	6.0				50140R	811	6.0	65140R	905	5.5	80140R	999	5.0
150A	168	T-168	871	5.5				50168R	899	5.5	65168R	993	5.0	80168R	1,087	4.5




タイカブラック・ロール Q&A

問合せ	回答
同梱の被覆付番線以外は使えますか？	使えます。 市販の番線(被覆なしでも可)を使用しても問題ありません。
タイカブラック・ロールの取り付けにアルミテープを使用しても良いですか？	良いですが、 必ず、番線との併用(2カ所)としてください。
タイカブラック・ロールと壁開口の隙間は、セメントモルタルでなくても使えますか？	使えません。 必ずセメントモルタルで充填してください。
タイカブラック・ロールの向きはありますか？	あります。 タイカブラック・ロールの黒いゴム部と灰色シートの端部が揃っている方が、防火壁内に挿入されます。 また、白いフィルムが貼付してある側がアーマフレックス側(巻き付け内側)になります。 
タイカブラック・ロールの黒いゴムに付いている白いフィルム(剥離紙)は、剥がさなくても良いですか？	良いです。 予めタイカブラック・ロールを仮固定する場合には、剥離紙を剥がして御使用ください。施工後にタイカブラック・ロールの位置を調整したい場合には、剥離紙が残っている方が調整し易いです。
認定シールは、ありますか？	あります。 タイカブラック・ロール施工後に貼るシールを同梱しています。 低温の影響で剥がれる恐れがあるので番線部分に重ねて貼付することをお勧めします。 認定シールが足りない場合は最寄りのウチヤマコーポレーション(株)営業所に連絡してください。
タイカブラック・ロール施工後に、ウレタン吹付けは出来ますか？	要確認。 ウレタンは可燃物ですので、所轄の行政機関等に確認して吹付けしてください。 耐火処理部分が吹付けによって隠れる場合は予め施工要領書通りに施工されたタイカブラック・ロールを写真に撮ってから、吹付けを行ってください。
タイカブラック・ロール施工後に、外装材取り付けは出来ますか？	出来ます。 外装材が可燃物の場合は所轄の行政機関等に確認の上、取り付けしてください。 外装材によって耐火処理部分が隠れる場合は予め施工要領書通りに施工されたタイカブラック・ロールを写真に撮ってから、取り付けしてください。
防火壁から800mmアーマフレックスを伸ばしますが、その間でエルボは可能でしょうか？	可能です。 タイカブラック・ロールがエルボにかからないようにしてください。 下向き又は、横向きをお願いします。上向きの場合は問題ないと思われませんが、所轄の行政機関等に確認してください。 

タイカブラック・ロール Q&A

問合せ	回答
大臣認定の試験方法	<p>ISO834の加熱曲線にそって試験炉内を加熱し、非加熱側の区画貫通部が下記の条件を満たすことが要求されます。各試験体について実施した加熱試験によって得られた測定値(目視観察結果)が、次のイからハの基準を満足する場合に合格とする。</p> <p>イ.非加熱側へ10秒を超えて継続する火炎の噴出がないこと。</p> <p>ロ.非加熱面で10秒を超えて継続する発炎がないこと。</p> <p>ハ.火炎が通る亀裂等の損傷及び隙間を生じないこと。</p> 
タイカブラック・ロールの施工は、片側だけでも良いですか？	<p>ダメです。 両側施工が認定施工なので不可です。 施工要領書に従って正しく施工してください。</p>
タイカブラック・ロールは、2周以上巻き付けても良いですか？	<p>問題ありません。</p>
タイカブラック・ロールの端尺をつないで施工しても良いですか？	<p>問題ありませんが、アーマフレックスがつなぎ部から露出しないように重なり代を最低20mm以上確保してください。</p> 
タイカブラック・ロール同士を、防火壁内で突合せしても良いですか？	<p>ダメです。 壁内に20~25mmの挿入として下さい。 また、番線は、必ず防火壁から出して埋め戻して下さい。</p> 
国土交通大臣認定と、消防評定の違いは何ですか？	<p>合否基準に違いがあります。 建築基準法の防火区画が国土交通大臣認定で、消防法の防火区画が消防評定となります。遮炎性能に加えて、消防評定は遮熱性能、遮煙性能が求められます。 加熱試験時間は、大臣認定は、1時間(又は45分)、消防評定は、令8区画で2時間、共住区画で1時間となります。</p>

タイカブラック・ロール Q&A

問合せ	回答
<p>複数の配管を貫通させる場合、配管径、断熱厚み、開口径の制限はありますか？</p>	<p>制限はあります。 基本的には占積率及び認定書の範囲内で且つ施工を認定書通りに正しくして頂ければ問題ありません。 配管径→(鋼管SUS管はφ165.2以下 銅管φ66.68以下) 断熱厚み→鋼管SUS管は80mm以下 銅管は75mm以下 開口径→φ348mm以下で収まる範囲での組み合わせになります。 【注意事項】 配管と配管の間隙(クリアランス)を20mm程度は取って下さい。</p>
<p>アーマフレックスと、従来断熱材との取り合いは、どのように納めますか？</p>	<p>①従来断熱材の小口面にアルミを貼る。 </p> <p>②アーマフレックスに常に押し付けている様に、アーマフレックス専用接着剤で接着する。 </p> <p>③アルミ付きブチルゴムテープで気密を高める為に、アーマフレックスに100mm巻き付ける。 </p>
<p>マイナスの温度環境で施工出来ますか？</p>	<p>施工できます。 タイカブラック・ロールは、粘着テープ等使わなくても、氷点下で施工が完了できるような施工仕様になっております。 埋め戻しで充填するモルタルが氷点下の環境で、施工できるかどうか、施工検証の確認をお願い致します。</p>
<p>防火壁(RC100mm以上、ALC100mm以上)以外の壁で使用できますか？</p>	<p>使用できません。 現時点では、中空壁、耐火ボード、ALC(75mm)は使用できません。</p>
<p>2時間の耐火構造の壁に、国土交通大臣認定工法(1時間耐火)を施工できますか？</p>	<p>法的に問題ないと考えます。 建築基準法施行令第129条の2の5第1項第七号のハに示される通り、施行令第112条～114条に規定される防火区画等を配管などが貫通する場合に、必要な耐火性能は最大1時間と規定されており、第112条には構造が2時間以上の場合も含まれます。</p>